



指揮・指導
カール・ヤイトラー

ウィーン国立音楽大学卒業後、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団バストロンボーン奏者として活躍。ウィーン・フィルを定年退団後も、日本国内のトランペットコア（※）やウィーン式吹奏楽の指導と合わせてプロオーケストラに参加するなど、オーストリア国内にとどまらず世界各地で活動している。

※トランペットコア：トランペット・トロンボーン・チューバなどからなるウィーンの伝統的な大編成ブラスアンサンブル。

本番前にヤイトラー先生
からお話を伺いました！

ウィーン音楽は現地の人であれば親しみのある音楽であるため、譜面に書いていない指示も多いです。今回のワークショップではそういった部分を参加者の皆さんにお伝えしたく、入念

に練習を行いました。初めて演奏するウィーン音楽に練習当初は慣れない部分も多く見受けられましたが、練習を重ねていく上で、本場のウィーン音楽へ近づいていく様子を感じることができました。私も演奏者・観客と共にウィーン音楽を楽しみたいです。

練習から成果発表会
までお疲れ様でした！

観客からの手拍子で
会場全体が一体に！



プロの音楽家と
一緒に演奏！



カール・ヤイトラーと楽しむ ウィーン音楽

～ワークショップ&コンサート リポート～

園文化振興課 Tel 43-1111



10月20日、カール・ヤイトラーと楽しむウィーン音楽～ウィーン式吹奏楽&トロンボーンアンサンブル～のワークショップに参加した33人の学生およびアマチュア、茨城にゆかりのあるプロの演奏家たちによる成果発表会が中央公民館にて行われました。この日の発表会に向けて練習を行ってきた参加者たち。8月から月に1回、旧北小学校にて行われた譜読み会と18・19日の練習会・リハーサルを経て、アンコール曲を含め計14曲の演奏を見事に披露しました。

演奏会で披露した曲目はいずれも指揮者のカール・ヤイトラー氏が慣れ親しんだウィーン式音楽。楽譜には描かれていないウィーンなら

ではの音楽のテンポや音の響きをリハーサル時には何度も確認し、参加者たちは本番に向けて入念に練習を行いました。

ワークショップ参加者(園部中3年生)は「自身の所属する吹奏楽部では体験できない、大人数の演奏を経験することができました。プロから学ぶことができる機会はほとんどないので、レベルの高い練習をしたことによって、自身の演奏スキルも上達しました」、発表会を鑑賞した観客たちからは「身近な会場で著名な音楽家が参加する演奏会を聴くことができ、とても貴重な経験となりました。今後もこのような企画があれば、ぜひまた鑑賞させていただきたいです」との感想をお聞かせいただきました。